

しょう がく せい
小学生のための
こう つう あん ぜん
交通安全



じてんしゃ の とき まも る ー る
自転車に乗る時は 守らなければ ならない **ルール** があります

る ー る まも こうつう じ こ け が
ルール を守らなければ交通事故にあって ケガをしたり

いのち お
命を落とすことがあります

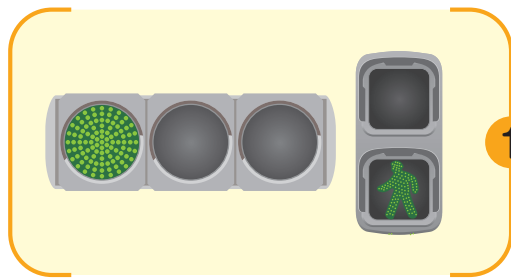
こうつう じ こ こうつう あんぜん べんきょう
交通事故に あわないために みんなで交通安全について 勉強しましょう

公益社団法人 北海道交通安全推進委員会

信号の正しい見方わかるかな？

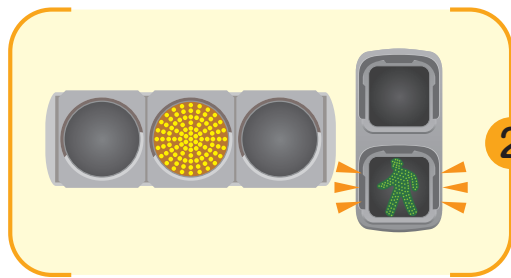
問題

信号の正しい意味を
選んで線で結びましょう



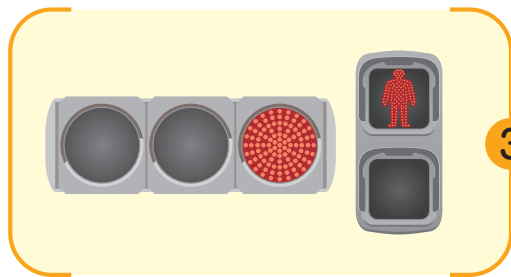
1

あ



2

い



3

う



指導者・ 保護者の方へ

設問のアドバイス等

信号の色の正しい意味を、しっかり理解させましょう。特に、青信号は単に「進め」ではなく、「左右の安全を確認し、車や歩行者に注意しながら渡る」というように、具体的な場面を想定しながらアドバイスすることが大切です。

指導のポイント

信号の色の配列を正しく理解出来ているかどうかは、直接安全に必要な知識ではありませんが、正確な観察・記憶の必要性・大切さを気づかせてあげましょう。また、歩行者用信号機がある場合は、その信号に従うことや、青信号の点滅の意味、押しボタン式信号機の利用方法も正しく指導することが大切です。

歩く時のおやくそく

1 | 道路を歩くときは歩道を歩きましょう
歩道がない道路では右の端を歩きます

2 | 道路をわたるときは
一度止まって右・左・右を
たしかめてからわたりましょう

車がきているときは
車が止まってからわたります

3 | 信号はかならずまもりましょう

4 | 道路にとびだすと
車にはねられるきけんがあるから
ぜったいにやめましょう



指導者・
保護者の
方へ

〈小一リスク〉～小学校1年生の歩行中の交通事故が他の学年と比較して突出して多くなっています。これは子どもが保護者の手を離れ、単独で行動する事が多くなったり、行動範囲が広がる一方で、交通ルールが十分に身につけていないことや何かに集中すると周りが見えなくなってしまうことによって「飛び出し」など交通事故に直結する危険行動を引き起こすためと考えられています。

自転車に乗る時のおやくそく

1 | 自転車に乗る時は
かならずヘルメットをかぶろう

2 | ヘルメットは大切な命を守ります



ヘルメットをかぶらないと 自転車で転んだ時に、頭に大きなケガをするよ

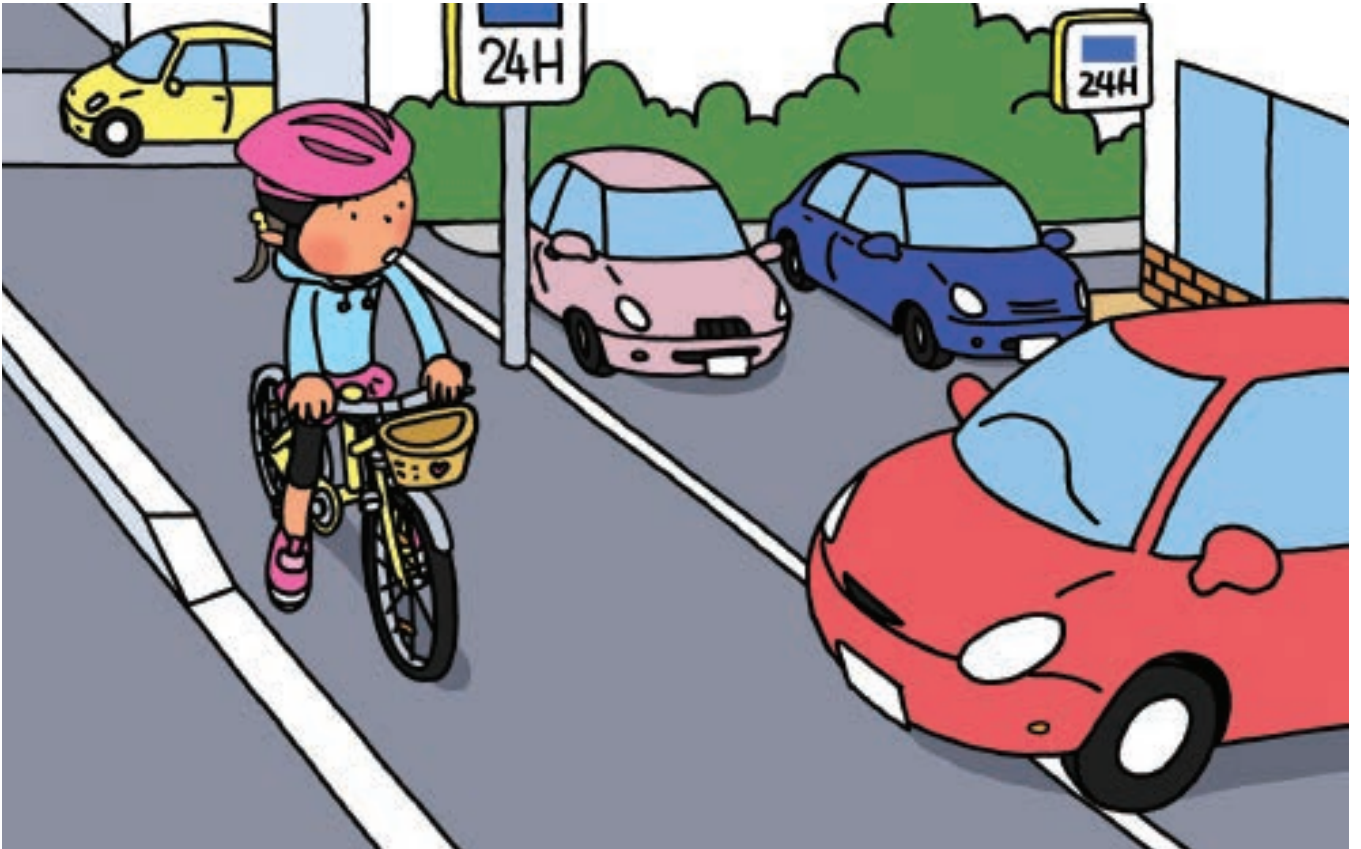
指導者・
保護者の方へ

自転車を運転する13歳未満の子供や、幼児用座席等で自転車に同乗する6歳未満の子供にヘルメットを着用するよう努めることは、保護者や先生など、子供を保護する責任のある者の義務です。
※所定の安全基準を満たしたヘルメットを着用させましょう

ほ どう 歩道では

3

自転車は車の仲間なので車道を走りますが
普通自転車に乗る小学生は歩道を走ることができます
でも歩道は歩く人が主役 歩行者に注意しましょう



ちゅうしゃじょう、がそりんすたんど、コンビになどに
車が入ってきたり 出ていったり していないか よくたしかめよう

横の道から 急に出てくる 人や車に ぶつからないように
自転車を 止めて 右左を よくたしかめよう

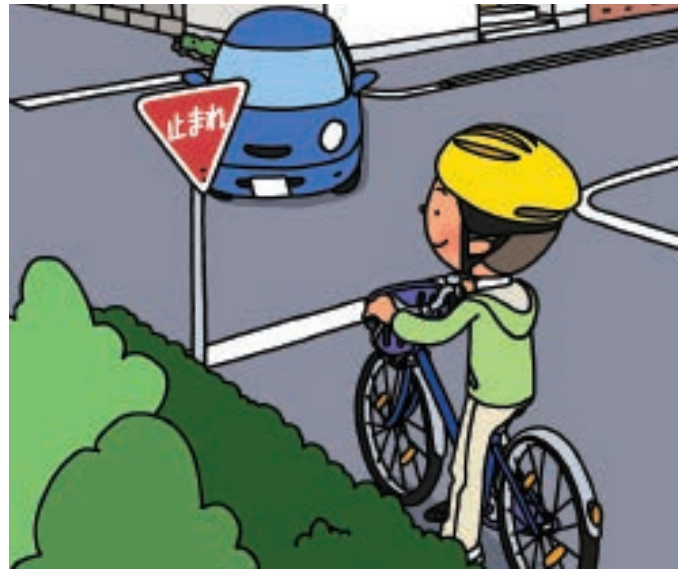
指導者・
保護者の
方へ

歩道では、車道側をゆっくり通ることによって見通しの悪い場所からの飛び出し等にも早めに発見でき対処しやすくなります。また、歩道を通っているから大丈夫と思ってしまいがちですが、歩道では歩行者にケガをさせてしまう恐れがあります。歩行者優先を認識させ、歩行者に優しい運転をするよう指導しましょう。※こども(13歳未満)が歩道を走ることができるのは「普通自転車」に限ります。

自転車^{じ てん しゃ}で 交差点^{こう さ てん}を わたる時は^{とき}

4 | 交差点^{こう さ てん}を わたる時は^{とき}
曲^まがってくる車^{くるま}に 気^きをつけよう

5 | 交差点^{こう さ てん} や 曲がり角^{ま かと} では
かならず 一度^{いち ど} 止^とまろう



信号^{しんごう}が青^{あお}でも 交差点^{こう さ てん}をわたる前^{まえ}に 曲^まがってくる
車^{くるま}がないか よくたしかめよう

おうだん歩道^{ほ どう}に人^{ひと}がいる時は 自転車^{じてんしゃ}からおりて わたろう
わたっている時^{とき}も 曲^まがってくる車^{くるま}に 気^きをつけよう



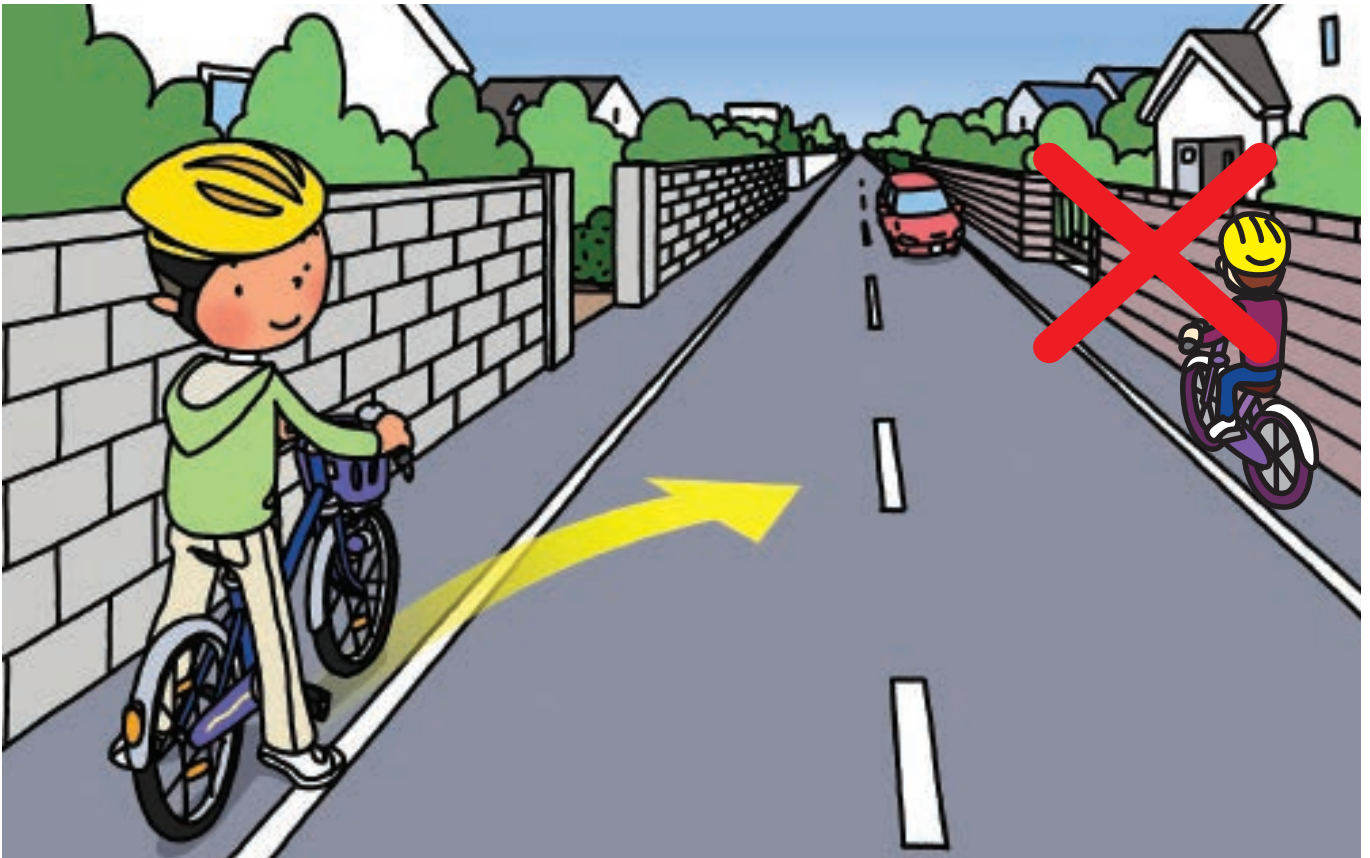
交差点^{こう さ てん}は 交通事故^{こうつうじこ}が いちばん多^{おほ}いところです
かならず止^とまって 右^{みぎ}と左^{ひだり}を見て 人^{ひと}や車^{くるま}が来^こないか
よくたしかめよう

指導者・
保護者の方へ

- 横断歩道は歩行者が優先です。
自転車は、歩行者の通行を妨げる恐れのある場合は、乗ったまま通行してはいけません。
- 自転車が車の死角に入ってしまう、ドライバーから見えない場合があります。たとえ信号が青でも、周囲の安全をしっかりと確認するよう指導しましょう。
- 交差点や曲がり角を通る時は、必ず一時停止をするよう指導し、危険性を教えてあげましょう。

自転車じ てん しゃで 道路どう ろを わたる時は とき

6 | 道路どう ろを走る時は 道路どう ろの左側ひだり がわを通行つう こうしましょう
進路しん ろをかえたり おうだんする時は
かならず **一度 止まろう**



おうだん歩道ほ どうがないところで 進路しん ろをかえたり

おうだんする時は **一度止まって** 前まえや後うしろを見て

近づちかいてくる人ひとや車くるまがいないか **よくたしかめよう**

よくたしかめないで 曲まがると 人ひとや車くるまに ぶつかってしまうよ

指導者・
保護者の方へ

子供は大人と比べて視野が狭く、また目線が低いことから、大人では分かる危険に気付かないことがあります。

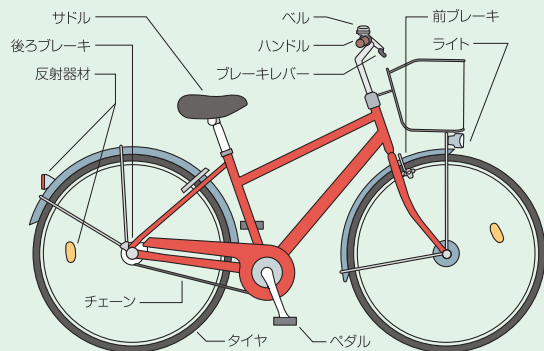
特に曲がる時は、視野が狭い分大きく体を動かして左右を確認する必要があります。自転車に乗りながらしっかり確認しようとすると、バランスを崩し、転倒してしまう恐れがありますので、一度止まってしっかり安全確認するよう指導しましょう。

自転車の点検

— 指導者・保護者の方へ —

自転車を安全に乗るためには、常に点検と手入れをし、自転車の機能が完全に働くように点検しておきましょう。

- サドルがぐらついていないか。
- サドルにまたがった時、両足のつま先が地面に着くか。



- ハンドルが曲がっていないか。
- ペダルが曲がっていて、足が滑る恐れはないか。
- チェーンがゆるみ過ぎていないか。
- ブレーキが前も後ろも効くか。
- 警音器(ベル等)が鳴るか。
- ライトが明るく点くか、また、レンズは汚れていないか。
- 反射器が汚れていないか。
- 反射材(リフレクター等)が付いているか。
- タイヤにしっかり空気が入っているか、またすり減っていないか。

もしものために -TSマーク-

自転車も年1回、自転車安全整備士のいる自転車安全整備店で、自転車の点検・整備(有料)を受け、損害補償と賠償責任補償の保険がついている「TSマーク(1年間有効)」を貼ってもらいましょう。

第一種 TSマーク (青マーク)	区分	傷害補償		賠償責任補償	被害者見舞金
		入院15日以上	死亡、重度障害	死亡、重度障害	入院15日以上
第二種 TSマーク (赤マーク)	第一種 TSマーク	一律1万円	一律30万円	限度額 1,000万円	—
	第二種 TSマーク	一律10万円	一律100万円	限度額 1億円	
第三種 TSマーク (緑マーク)	第三種 TSマーク	一律5万円	一律50万円	限度額 1億円	—

※TSマーク付帯保険の有効期間は点検日から1年間です。年に1回、定期的に点検を受けて、保険の更新をしましょう。

北海道自転車条例 (平成30年4月1日施行)

※自転車を利用する際は

- ヘルメットの着用に努めましょう。
- 自転車の後部だけでなく、側面にも反射材を装備しましょう。
- 万が一の事故に備えた自転車損害賠償保険等に加入しましょう。